

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム とみひさ

(ユニット名)

1ユニット

記入者(管理者)

氏名

山崎 カツコ

評価完了日

平成 19 年 6 月 5 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月31日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104050		
法人名	有限会社 山崎介護センター		
事業所名	グループホームとみひさ		
所在地	松山市富久町95-5		(電話) 089-973-3372
管理者	山崎 カツコ		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月27日	評価確定日	平成19年7月31日

【情報提供票より】 (平成19年6月5日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年5月17日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	6人, 非常勤 3人, 常勤換算 7.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	400円	おやつ 100円
	または1日当たり 1,200円		
(3)利用者の概要 (平成19年6月5日現在)			
利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	0名	要介護2	2名
要介護3	2名	要介護4	3名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 69.7歳	最低 63歳	最高 89歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>神社へのお参りが習慣になっている方、行きつけの喫茶店やお気に入りの温泉に出かける方もおられる。                  ホーム独自に、(食事・口腔ケア・入浴等)サービス提供の具体的な内容を示す冊子を作っておられ、職員が、その一つひとつをチェックし、日々のケアの確認をされている。                  利用者が食事時の挨拶を当番で行っておられる。手編をされている方やお経を唱える事を続けておられる方もいる。餅つき・醤油もち作り等、手作りされている。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて、運営推進会議で出席者に意見を求め参考にされながら、改善に向けて取り組まれている。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・自己評価は、月2回のカンファレンス時に全職員で話し合い、まとめられた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・地域の中の他事業所と共同で会議を開催されたこともある。地域の方やご家族からも活発に意見や質問があり、市の担当者や事業所の法人代表者がお答えされている。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・家族会開催時には、家族のみで話し合うような時間を設けておられる。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・利用者は、職員とともに地域行事へ参加されている。又、回覧板を回したり、婦人部役員の仕事を手伝っておられる。小学生が車椅子体験に訪れている。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域と言っても、利用者にとっての地域はそれぞれに異なり、その人らしく地域でと言うのは難しいと思われる。ホームとしては努力している。		地域の行事には参加するようにしている。ご近所の人には気軽に声かけしてもらい協力依頼はしている。
			(外部評価)		
			事業所の運営方針に基づき、地域社会との交流に努めることを目指した理念が作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者と職員は理念を共有し利用者が、ゆっくり、のんびり、心穏やかに生活出来るように日々支援している。		
			(外部評価)		
			ミーティングや日々のケアの中で理念に立ち戻り、職員で話し合われている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族への理念の浸透は理解して頂けていると思われるが地域への浸透までには至っていない。地域の人に理解してもらえるように近隣との付き合いを大切にしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ご近所の人達と気軽に声を掛け合っている。季節の野菜を頂いたり、利用者さんにも声を掛けていただいている。ホームのイベントに参加して頂いている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地元と交流が持てるように、利用者とともに地域の行事には必ず参加している。(今年度は婦人部の役員をしている。) (外部評価) 利用者は、職員とともに地域行事へ参加されている。又、回覧板を回したり、婦人部役員の仕事を手伝っておられる。小学生が車椅子体験に訪れている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 努力はしているが地域貢献にまでにはいたっていない。地域の高齢者の相談等あれば親切に対応している。		地域に貢献できるようにして行く。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義を理解し取り組んでいる。月2回のカンファレンス時に話し合い、また、研修にも参加している。 (外部評価) 自己評価は、月2回のカンファレンス時に全職員で話し合い、まとめられた。前回の評価結果を受けて、運営推進会議で出席者に意見を求め参考にされながら、改善に向けて取り組まれている。		自己評価に取り組む際に、事業所自ら気付かれたことは、質の向上に向けての最大の起点でもあり、さらに、今後も、サービス評価を活かした取り組みが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議は開催しているがまだ、そこでの意見をサービス向上に活かせることが出来ていない。これから活かせるように取り組みたい。		運営推進委員会での意見を活かせるようにして行く。
			(外部評価)		
			地域の中の他事業所と共同で会議を開催されたこともある。地域の方やご家族からも活発に意見や質問があり、市の担当者や事業所の法人代表者がお答えされている。		今後、事業所では、身近で分かりやすい議題の設定を検討し、出席者からさらに多くの意見をいただけるよう、取り組みたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			介護保険課の職員研修を受け入れるようにしている。今後もいろいろな機会をつくり連携をはかりサービスの質の向上に取り組んで行きたいと考えている。松山市介護保険課からの依頼があればすべてお受けするつもりです。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時には、会議の目的や外部評価の主旨をお話いただいた。事業所から成年後見制度活用について相談されたり、今後は、市の介護保険課の職員研修を受け入れる予定となっていた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			成年後見制度を利用されている。(手続からしたので良く理解できた)全職員は後見制度についての研修会に行っている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員が利用者からたたかれる事があっても職員は利用者を大切にしている。管理者と職員は高齢者虐待防止関連法について研修を受けている。カンファレンス時にも話し合っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前には時間を掛けて、十分な説明を行なっている。ご本人とご家族に納得してもらってから入所契約をしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご自分の意見が言える利用者さんの意見はケアプランに入れ反映させているが、意見や不満などを言えない(認知症が重度の為)利用者さんのことはわからない。意見箱の設置をしたり、何でも言って下さいとお願いしているが、意見、不満、苦情はないと言われる。このような場合どう評価したらいいのかな?		もっと意見が出せるような工夫をする。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月ホーム便りとともに些細な事でも報告している。異常があればその都度報告をしている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意向を伺ったり、意見箱の設置をしたりしているが、開設から1度も運営に関する意見、不満、苦情がないので運営に反映できない。(家族会でも参加されたご家族からは現状に満足している、感謝していただきました)この項目の評価も? (外部評価) 家族会では、家族のみで話し合うような時間を設けておられる。		現状の介護に満足していると言われるが、運営に反映できるような意見を出してもらおう。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者（運営者）は職員の意見を良く聞くようにしている。年に1度は個人面談を行い職員の思いを聞いている。季節ごとに食事会などで話し合っている。職員1人1人の意見を運営に反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務の調整に努めている。職員みずからなにかあれば連絡をするように取り決めしている。緊急時には職員がそれぞれに進んで対応している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 昨年6月1人職員が家庭の都合で退職したがホーム便りでお知らせし、パートの新人職員の紹介もした。利用者へのダメージはなかったと思われる。（開設から1人のみの退職でそのたにパート常勤退職者はいません）		
			(外部評価) 利用者、ご家族と職員は、馴染みの関係となっている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 段階に応じて研修を受けている。ホームにもスーパーバイザーに来ていただき研修をしたり、他グループホームの研修に参加したりしている。勉強会においても救急法、感染症対策など常に行なっている。		
			(外部評価) ホーム独自に、（食事・口腔ケア・入浴等）サービス提供の具体的な内容を示す冊子を作っておられ、職員が、その一つひとつをチェックし、日々のケアについて確認をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			地域の介護事業者の会合に参加したり、又、他の運営者と交流を持ち悩み等の相談をしたり、助言を受けている。相互評価事業にも参加している。		
			(外部評価)		
			管理者、職員は、他事業所との勉強会だけでなくイベント等にも参加し、相互の交流を図っておられる。相互評価時、食事のことについて高く評価をいただいたようである。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員を大切にしている。ストレス軽減の工夫を常に考えている。スーパーバイザーによるストレス解消の研修もしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			各人が目標を持ち資格取得出来る様に支援している。仲良く楽しく働けるように、運営者は努力している。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入所前には時間を掛けて、ご家族の悩みや、ご本人の思いを伺いグループホームについて十分な説明を行っている。ご本人とご家族に納得してもらってからホームにも見学に来て頂いている。(17年6月以来入所者さんの入れ替わりなし)		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  しました。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  十分に支援した。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  ホームに何度か来ていただいたり、訪問したりなじめる工夫をしました。		
			(外部評価)  入居前には、見学をしていただいたり、職員がご自宅にうかがい、ゆっくりと馴染みの関係を作り、入居できるよう支援されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  喜怒哀楽をともにしご本人から学ぶ事も多く、支え合うというよりも、癒される事が多くなっている。いけない時には本気で言い合いもします。		
			(外部評価)  利用者と職員の信頼関係が作られており、職員は、時に利用者から励ましの言葉を掛けてもらうようなこともある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) いろいろ工夫し声かけしても拒否されるご家族、身寄りのいない利用者さんもおられます。悩んだり喜怒哀楽を共有出来ているご家族さんもおられるが9名全員のご家族には難しい問題です。		身寄りのいない方には後見人あり。あきらめないでご家族に声かけを続ける。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 努力はしているが今後の課題です。		ご本人の1番悪い状況を知っているからこそご家族はなかなか受け入れる事ができないと思われる。今後もよりよい関係に向けた支援を続ける。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 住まれていた地域に行き馴染みの人と合って頂いたりしている。お一人は以前付き合っていた、男性と会いたいと言われるので1度来て頂いたが、それ以来は来る事もなく、なかなか本人の思いを支援するのは困難です。		ご本人が現実を把握できるように支援して行く。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同志は支えあい助け合っている。服薬の声かけをしたり、食事、おやつ時に誘い合っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 開設からお1人は他のグループホームへ、お1人は特養へ変わられました。年賀状、暑中見舞いをお出しし、近況を知らせていただいている。特養に変わられた人の息子さんがゴーヤや釣りに行かれお魚をよく届けて下さっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) お1人お1人の思いや意向を把握している。お1人の入居者さんが、以前一緒に生活していた男性と暮らしたいと言われるが、その方は相手が拒否されるのでいくらホームが努力しても困難です。</p>		<p>ご本人が現実を把握しかなわない事と思えるように支援していく。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>			<p>(自己評価) お1人お1人の生活歴や環境を把握している。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) ご本人の出来ることを把握し支援している。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 利用者がよりよい生活が出来るように、ご本人の希望やご家族の意向を伺いながら、職員間でもカンファレンス時に話し合い利用者本位のケアプランを作成している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>ご本人やご家族とのかかわりの中で、思いや意見を探り、計画に反映できるよう努めておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			必要に応じた見直しを行なっている。変化があればその都度ご家族さんに連絡、相談して職員間でも話し合い、その時々にご本人に合わせたケアプランを作成している。		
			(外部評価)		
			3ヶ月に1回、見直しを行なっておられる。又、心身の状態等に変化があった場合は、その都度見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			気づきや工夫を記録し情報を共有しながら、日々のケアやケアプランの見直しに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			ご本人さんや、ご家族さんの要望に応じれるようにしているが、事業所の多機能性を活かして??支援出来ているかと?聞かれると?出来ていないとなるのかな? この項目は単独のグループホームには評価出来ないのでは??		多機能性は活かしていない。
			(外部評価)		
			事業所では、利用者の病院受診の送迎や同行をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員さんには、運営推進委員会に来ていただいたり、ご近所の方にはイベントに来ていただいたりしている。さくら小学校の学童のボランティアも今年度から受け入れている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域の介護事業所の介護タクシーを利用したり、全盲の利用者さんがガイドヘルパーを利用できるように支援している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ケアマネジメント等については協働していない。(地域包括支援センターが出来る前から入所の為利用者にとってはなじみがないので) 運営推進委員会には来て頂いている。		今後対応困難なことがあれば相談して行きたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 支援出来ている。協力医院の先生が24時間対応して下さっている。(文書あり)愛大、貞本、愛媛病院、等希望される医療機関に通院介助している。  (外部評価) 利用者の希望するかかりつけ医に受診できるよう支援されている。休日・夜間・緊急時等は、協力医が診てくれるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 味酒診療内科の笠先生に気軽に相談している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 管理者に看護師資格があり24時間対応している。また、常勤職員に看護師がおり、パートの職員2名も看護師の資格がある。日々の健康管理や医療との連携を図っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院した時には、早期退院に向け入院している病院と密に情報交換している。入院中には、管理者、職員が出来る限り面会に行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 出来ている。看取りの方針に基づき勉強会を行い異常の早期発見に努めている。ご家族とは常に連携を図っている。協力医院の先生が24時間対応して下さるようになっている。ターミナルについて年に1回必ず意向を伺っている。些細な事でもご家族に連絡をしている。 (外部評価) かかりつけ医の意見等を参考にしながら、ご本人、ご家族等と繰り返し話し合いが行なわれ、又、職員も含めご本人にかかわる人全員で方針を共有されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 1日1日を大切に生活出来るように支援している。協力医院の先生に気軽に相談し取り組んでいる。ご家族、ご本人の希望を入所前から文書化している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退去時には、詳しく情報を提供しました。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)  プライバシーの確保の徹底を職員一同話し合い支援している。  (外部評価)		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)  利用者の希望をお聞きし自己決定できるように支援している。お一人お一人のレベルに合わせた説明をしている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  利用者のペースを大切に希望にそって支援している。  (外部評価)  利用者がどうしても眠れないような場合は、ゆっくりとお話をされたりテレビを見る等、利用者のペースを尊重し支援されている。買い物や外出の希望があれば、その都度対応されている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人らしいおしゃれを支援している。利用者さんが、喜ばれる訪問理容師に来ていただいている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べる事を楽しみにされている。職員が美味しいと思える食事の提供を心がけている。お一人お一人に合わせた好みや食事の形態で提供している。出来る人は手伝っていただいている。 (外部評価) 利用者と職員と一緒にテーブルを囲み、食事に興味がわくような話題で楽しく食事をされていた。下膳できる方は、なるべくご自分で下げられるよう支援されていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お2人は食後と寝る前にタバコを玄関先の椅子で楽しまれている。時々喫茶に行ったり外でのおやつをしている。おやつは好みを把握している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) さりげなく支援している。排泄パターンを把握し出来る限りトイレでの排泄をしている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			お一人お一人の希望を大切に入浴を楽しめるようにしている。		
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりのその日の体調や気持ちを大切に支援されている。朝風呂を好まれる方もおられる。菖蒲湯・ゆず湯・バラの花湯等も楽しまれている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			安心して休めるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			支援出来ている。		
			(外部評価)		
			利用者が食事時の挨拶を当番で行っておられる。手編をされている方やお経を唱える事を続けておられる方もいる。餅つき・醤油もち作り等、手作りされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金を管理されている利用者もおられる。お金を持って職員同伴で買い物に行っている。お参りの時はお賽銭を持って行きご本人が賽銭箱に入れている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩をしたり、その日の希望に沿うようにしている。毎月1回は全員で外出して食事やおやつを楽しんでいる。		
			(外部評価)		
			神社へのお参りが習慣になっている方や行きつけの喫茶店、お気に入りの温泉に出かける方もおられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			支援している。毎月の外出は利用者に希望をお聞きしている。季節毎に毎狩り、蛭狩り等に行ったりしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			お部屋に電話を設置している利用者、携帯電話をもたれている利用者、ホームの電話も希望時にはかけている。年賀状を一緒に書いている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地良く過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも、どなたでも気軽に訪問でき、居心地良く過ごせるようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  身体拘束をしないケアを実践している。職員は研修に参加して正しく理解している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  鍵をかけないようにしている。  (外部評価)  日中は鍵をかけず、安全に配慮しながら、利用者の自由な暮らしを支援しておられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  安全に配慮しプライバシーにも注意してケアしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  注意の必要な物品の保管、管理を取り決めをして危険防止に努めている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ヒヤリハットを検討したり利用者が出来る事、出来ない事を把握し事故防止に取り組んでいる。リスクマネジメントの研修に参加し勉強会で事故のないよう話し合っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 看護職員の指導のもと応急手当の勉強会をしている。何度か利用者が急変されたが職員はおちついて対応している。(管理者は毎年救急法の研修に行っている)		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域のかたには何かあれば対応して頂けるようお願いしている。(文書あり)災害時の訓練を定期的に行っている。 (外部評価) 日頃より火始末に注意を払っておられる。連絡網整備や避難訓練を実施され、反省点を次に活かすように取り組まれている。水・乾パンの備蓄もされている。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ヒヤリハットの検討をしてリスクマネジメントを話し合い、ご家族にも説明。事故の起こらないように日々の生活を安心して過ごせるように支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 異常の早期発見に努めている。何かあれば、ご家族にもすぐに連絡している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 1人1人の服薬を職員は把握している。きちっと支援している。勉強会で薬の副作用等を取り上げている。薬に変更があれば全員で共有できるように徹底している。(個人ファイルに薬の見本と薬文献あり)		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 職員は、利用者の便秘の予防と対策に努めている。食品の工夫をして便秘しないようにしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアを習慣づけしている。1人1人りに応じた支援をしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランス、1人1人が食べれる量や好みを把握して、水分量のチェックをしている。糖尿病、心臓病、高血圧の利用者に合わせた食事の提供をしている。 (外部評価) 水分制限のある方・カロリー制限のある方等もおられるが、栄養士のアドバイスもいただき、一人ひとりに応じた摂取を心がけ、バランス等にも配慮されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルあり。勉強会で感染症の予防、対応策の取り決めをしている。手洗い、うがい、消毒を毎日習慣的に行なっている。インフルエンザは毎年、利用者、職員予防接種を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>新鮮な食材の利用。調理場の衛生管理に努めている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>誰でも安心して出入りできるように工夫している。 花を作ったり野菜を作ったりしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居心地良く生活出来るように配慮している。季節の分かるような草花を活けたり、壁掛けを掛けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関先には季節の野菜やハーブが育てられており、テーブルには散歩の時に摘んで来られた季節の草花が生けられていた。トイレ・浴室も清潔にされていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気の合った利用者同士で話をしたり、全員で歌を歌ったり、体操をしたり、般若心経を唱えたりしている。テレビの好きな利用者はテレビを見て過ごしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れたものの持込をして、居心地良く過ごせるようにしている。		
			(外部評価)		
			ご家族の写真や聖書・箒笥・ソファ・鏡台・ぬいぐるみ等、個々の馴染みのもの、お気に入りのものが持ち込まれていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度調整に配慮している。24時間自動換気システム。気になる匂いのしないようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			建物内はバリアフリー。安全に生活出来るようにしている。2階の利用者はリハビリ目的に階段を利用している。(お1人は重度のためエレベーター利用)		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者1人1人の出来る事、出来ない事の把握が出来ている。混乱しないように工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の外に椅子を置きタバコを楽しまれたり、季節の花を楽しまれている。洗濯物干しを手伝ってもらったりしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思いを大切に支援している。金銭的に希望をかなえる事が出来ない場合もある。出来る限り、利用者が望むように生活してもらっている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	テレビを見たり、おやつをしたり一緒に楽しんでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者1人1人のペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体操をしたり歌を歌ったり、食事中はとても生き生きと食事を楽しまれる。毎月1回は全員でお出かけして外食やおやつを楽しんでいる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	金銭的に無理な利用者もおられるが、行きたいといわれれば対応している。定期的に、蛍狩り、イチゴ狩り、ぶどう狩り、ソーメン流し等に行っている。毎月のお出かけは利用者に希望を聞いている。毎月ミサに行かれている利用者さんもおられる。以前住んでいた所にも行っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	24時間星島先生が対応して下さっている。管理者に看護師資格がある。職員にも看護師がいる。ヒヤリハットを検討し事故のないようにしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者は、その時々状況に応じ、職員の声かけや見守りで安心して生活している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	些細な事でも連絡して信頼関係を築いている。いくら呼びかけてもかかわりを持ちたかないと、思われているご家族さんもおられる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	開設から3年たち地域の人に来てくださるようになった。知り合いがボランティアでよく来てくれる。他のグループホームと交流をもっている。



項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進委員会の開催は行なっているが、まだまだこれからです。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 ①ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は1人1人が楽しく働けていると言っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほとんどの利用者が満足していると思われるが、一部分で満足できていないところがある。自由に暮らしたい、星の王子様が迎えに来る等独り言で言っている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	来られないご家族も安心していただいている。よく来てくださるご家族さんは、ここにいるからこそ安心して仕事が出来るといわれている。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

1日1日を大切に生活していただけるように努力している。職員は研修に行き前向きに勉強をしている。ターミナルまでの対応のため急変時にも冷静に対応できるように勉強をしている。食事は自分たちが食べておいしいと思えるものの提供をしている。食べる事に関しては利用者は全員が満足されていると思われる。24時間医療機関と連携がとれている。職員に看護師がいる。